

高木仁三郎市民科学基金 助成研究/研修 完了報告書

提出日：2008年4月29日

1. 氏名・グループ名及び研究テーマ

| | |
|-------------|--|
| 氏名(グループ名) | カネミ油症被害者支援センター 佐藤禮子 |
| 連絡先・所属など | 東京都豊島区池袋3-30-8みらい館大明 108号 Tel 070-5460-0568 |
| 調査研究・研修のテーマ | 英文「Yusho」冊子作成と国際会議での配布 |

2. 調査研究・研修結果の概要

日本の公害について英文で世界に紹介されたものは数少ない。油症の問題は日本国内のみならず世界的に重要であるにも関わらず、海外にその実態が伝わっていない。

今回冊子「Yusho」を作成することにより、毒性の強いPCBやダイオキシンが曝露後40年、世代を超えて人体に被害を及ぼし続けていることを知らせることができた。それは、化学物質を大量に使用し始めている発達途上の国々の人々にとっても、日本と同様の被害を起こさないためにも大切な情報である。冊子に盛り込まれたのは、単に健康被害だけではなく、被害者への行政の対応、国の資金の動き、認定、救済など社会文化的諸問題であり、化学物質被害の社会的構図を理解する上で大切な作業であった。国際会議にて冊子は数百部配布したが、瞬く間になくなり冊数は不足した。これらの市民レベルの活動が影響したためか、今年、厚生労働省は油症被害者の本格的実態調査に事件後はじめて着手した。このような被害者調査は水俣病の場合にも実施されることがない。

3. 調査研究・研修の経過

- ・2007.4 ~6 英文冊子日本語にて編集作業
- ・2007.6 ~8 英文化作業
- ・2007.9 東京で開催されたダイオキシン国際会議NGOフォーラム
ダイオキシン国際会議の本会議にて冊子配布

4. 調査研究・研修の成果

- ・日本の公害被害が英文で海外に紹介されているものは数少なく、それらは水俣病に関する著作などに限られている。今回の冊子「Yusho」は、PCBやPCDFによる食中毒事件発生から40年余り経過した今日まで、国外に知られていない事実を中心に世界に情報発信する目的で編集作業が行なわれた。その中には、2世、3世の健康被害の聞き取り、この食中毒事件に対する数十年に及ぶ国の対応、その問題点、矛盾、救済を拒む社会の問題、被害者に本来届くべき資金がほとんど被害者の役に立たない社会の仕組みなどが盛り込まれた。この冊子作成のために、YSCではこれまでの日本語で作成した出版物に含まれていなかった調査を行い、新たな図の作成を行った。この一連の作業によって、公害問題において被害者を取り巻く政治、社会問題の構図、化学物質被害に内在する諸問題を簡単ではあるが考察、分析することができた。

- ・ 国際会議場にて英文冊子「Yusho」を数百冊配布したが、瞬く間になくなり参加者の関心の高さが感じられた。とくに米国EPAからの参加者や中国からの参加者などがこの問題に関心を示した。
- ・ YSCのこのような活動の影響もあったのか、厚生労働省は今春より40年後の油症被害者の本格的な調査に行政としては初めて着手した。水俣病についてさえそのような大規模被害者調査が今日までなされていないことを考えるとその意義は大変大きい。調査の中には、次世代影響の視点も初めて入れられたが、市民レベルの活動が世論を盛り上げ、国のこの問題への取り組みに繋がった。又、今後、調査報告書を英語で報告する考えがあると聞いている。

5. 対外的な発表実績

- ・ 2007.9 ダイオキシン国際会議(東京)ポスターセッションにて発表
「Second Generation of “Yusho” -39 years after PCBs/PCDFs Exposures-」
- ・ 2008.4 本年度のダイオキシン国際会議(イギリス)にて配布される冊子
「DIOXIN 2007 記念出版 POPS in Asia」に寄稿

6. 今後の展望

- ・ 英文冊子「Yusho」を今後さらに内容を追加、精査してよりよい冊子として改訂版を作成するかどうかについては未定。今後検討していきたい。

7. 完了報告 英文概要

| | |
|--|-----------------------------------|
| Recipient Name | Reiko Sato |
| Belonging / Contact Address < 公表可能な問い合わせ先・メールアドレスなど > | Yusho Support Center |
| Theme of Research/Training | Publish English Booklet “ Yusho ” |
| Name of the Organization Providing Training < 研修の該当者のみ > | |

< 以下の空欄に前記 2 . に対応する内容を英文で記載して下さい。 >

Only few books have ever published on Japanese Pollution Problems in English. The Yusho, an unprecedented human tragedy caused by ingestion of PCBs/PCDFs contaminated oil, is very important Japanese experiences that contain meaningful lessons for people of the world. We have compiled the evidence of the Yusho such as the hearing stories collected from Yusho people, the movement of the victims, about the public funds not awarded to the victims, other complex problems that the left behind victims still suffering from. We translated them into English and distributed hundreds of the booklets on the occasion of International Conference on Dioxin which was held in Tokyo 2007. In the conference, not only the participants from developed countries, but also participants from developing countries like China paid great interest in the booklet. In 2008, ministry of health and welfare of Japan started questionnaire survey on Yusho victims 40 years after the outbreak of an accident. Such study has never conducted in the case of Minamata disease.

We believe that the 40 Years evidence of Yusho, though the information we provided was quite limited, would contribute to the people of the world to avoid unhappy accidents by PCBs/PCDFs like us..

8. 高木基金へのご意見 < 高木基金の助成についてのご要望・ご感想など、忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。 >

< 以上です。ご協力ありがとうございました。 >